

令和6年度 太良町教育の基本方針

～ 太良町の将来像 「未来を引きよせるチカラ太良町」 ～

住む人たちがかなえない未来を町民自らの力で引きよせることのできる実行力のあるまちの創生に向けて、本町教育に求められる課題は、自ら思考し他者と協働して課題を解決する力を持った子ども達を育むことです。

また、先行き不透明な予測困難な時代を切り拓いていくためには、町民一人一人が持続可能な社会の担い手として、多様性を原動力とし新たな考えや価値を生み出す力を高めていくことが、重要な課題であるといえます。

これらを踏まえて、令和6年度の太良町教育の基本方針として次の6点を掲げ、取り組んでいきます。

I 豊かな人間力を育む学校教育の推進

学校教育では、確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成を目指す。特に、令和6年度は、“自分で考えて、自分の意見を伝える。みんなで考えてよりよいものをつくりだす”ことのできる力を育むための学習活動を展開、推進する。

II 教育のまちづくりの推進 ～故郷に愛着と誇りを持つ児童生徒の育成～

“よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る”という理念のもと、児童生徒、学校、保護者、地域、関係機関が連携を密にし、教育の町づくりを目指す。そのことにより、児童生徒の多様で豊かな体験や学習活動を一層推進し、故郷に愛着と誇りを持つ児童生徒を育成する。

III 多様性のある共生社会の推進 ～一人一人のウェルビーイングの向上～

異なる他者がそれぞれの多様性を認め合い、互いに高め合う協働的な学びの機会の確保や人権・同和教育の推進を図ることにより、一人一人の能力・可能性を最大限に伸ばす教育の実現を目指し、ウェルビーイングの向上を図る。

IV スポーツの振興、国スポ・全障スポのよさと障がいに対する理解の促進

生涯にわたって気軽にスポーツやレクリエーションに親しめるよう、施設の整備・充実を図るとともに、その機会を提供するための各種大会や教室などを開催する。また、多様なニーズに対応するため、指導者の発掘・養成に努める。

令和6年度は“2024国スポ・全障スポ”を通して、スポーツの良さと障がいに対する理解の深化を目指す。

V 地域コミュニティの基盤を支える生涯学習・社会教育の推進

一人一人の自己実現の機会となるよう町民の自発的な学習活動を支援し、多様な学習機会や学習情報を提供する。また、学習した成果を生かす場を掘り起こし、地域社会の発展に生かす環境づくりを目指す。あわせて、指導者の発掘・養成、施設の整備・充実を図る。

VI 多彩な文化の振興と太良町の歴史・伝統文化の継承

太良町の伝統芸能や諸文化活動の活性化を目指し、郷土文化の振興を図る。また、歴史文化遺産を保存・継承するとともに、調査・研究、公開施設等を整備・活用する。

令和6年度具体的目標と施策、指標

I 豊かな人間力を育む学校教育の推進

学校教育では、確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成を目指す。特に、令和6年度は、“自分で考えて、自分の意見を伝える。みんなで考えてよりよいものをつくりだす”ことのできる力を育むための学習活動を展開、推進する。

(1) 確かな学力の育成

目指す子供の姿

自分で考えて、自分の意見を伝える。
みんなで考えてよりよいものをつくりだす。

基本施策	指 標
①「目指す子供の姿」実現のための授業改善の推進	「授業改善を進めた」教師の割合の増加 「授業の内容がよく分かる」と思う児童生徒の割合の増加 「勉強は好き」と思う児童生徒の割合の増加 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合の増加
②学習状況調査の実施・分析・活用の促進	各学習状況調査の結果を分析し、具体的な学習指導の改善に活用した学校の割合の増加
③認定こども園・保育所との連携による低学年児童の教育の充実促進	認定こども園・保育所の教育・全体における小学校との接続状況の改善
④教育DXを見据えたICTによる学習環境の充実	1人1台端末水準の維持、効果的活用頻度の向上
⑤英語教育への支援員の配置、国際交流の促進	「国際交流をしたい」「英語が好き」と思う児童生徒の割合の増加

(2) 豊かな心の育成

目指す子供の姿

自分のよさや可能性を認識する。
あらゆる他者を価値のある存在として尊重する。

基本施策	指 標
①「目指す子供の姿」実現のための機会を捉えた教育の推進 (例) 道徳教育の充実、いじめ等への対応 人権教育の推進 児童生徒自殺対策の推進	自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の増加 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合の増加 人が困っているときは進んで助けていると考える児童生徒の割合の増加 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できると感じている児童生徒の割合の増加
②青少年の健全育成に係る体験活動の推進	太良町や民間団体等が行う自然体験活動等の行事に参加した児童生徒の割合の増加
③子供の豊かな心を育む文化芸術活動の推進	文化芸術の鑑賞・体験事業を通じて、文化芸術への興味・関心を持った児童生徒の割合の増加

(3) 運動やスポーツ等を通じた健やかな心身の育成

目指す子供の姿

生活習慣を確立する。

運動やスポーツに親しむ。

基本施策	指 標
①学校保健、学校給食・食育の充実	朝食を欠食する児童生徒の割合の減少
②生活習慣の確立	毎日、同じくらいの時刻に寝ている、毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の増加
③学校体育の充実、体育・スポーツ施設の整備充実	計画的な施設整備による安全の確保と長寿命化の推進
④学校競技スポーツへの継続支援	九州大会・全国大会への出場補助の継続

(4) 学習環境の整備・充実、安全の確保、側面的支援

目指す子供の姿

安心・安全な環境で学ぶ。

基本施策	指 標
①学校施設の整備	計画的な施設整備による安全の確保と長寿命化の推進
②学校安全の推進	学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の減少
③教育費負担の軽減に向けた継続支援	給食費の無償化の継続 補助教材費支給の継続

(5) 指導体制、ICT 環境の整備

目指す姿

教師のウェルビーイング^{※1}の向上

基本施策	指 標
①働き方改革の推進	教師の勤務時間の短縮 ICT 支援員の1校に1人配置の継続 (支援スタッフとの連携・分担体制の構築)

(注釈) ※1 身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むもの R5 文部科学省「教育振興基本計画」p.8

Ⅱ 教育のまちづくりの推進 ～故郷に愛着と誇りを持つ児童生徒の育成～

“よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る”という理念のもと、児童生徒、学校、保護者、地域、関係機関が連携を密にし、教育の町づくりを目指す。そのことにより、児童生徒の多様で豊かな体験や学習活動を一層推進し、故郷に愛着と誇りを持つ児童生徒を育成する。

目指す子供の姿

太良町の“ここ”が好きと言える。
何か役に立つことがしたいと考える。

基本施策	指 標
①児童生徒、学校、保護者、地域、行政等5者間連携の活動の促進	学校に対する地域や保護者の理解が深まったと認識している学校の割合の増加
	地域学校協働活動に参画した地域住民等の増加 太良町の良さに気付いた児童生徒の割合の増加
②主権者教育の推進	生活や地域、社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合の増加(再掲)

Ⅲ 多様性のある共生社会の推進 ～一人一人のウェルビーイングの向上～

異なる他者がそれぞれの多様性を認め合い、互いに高め合う協働的な学びの機会の確保や人権・同和教育の推進を図ることにより、一人一人の能力・可能性を最大限に伸ばす教育の実現を目指し、ウェルビーイングの向上を図る。

目指す姿

自分のよさや可能性を認識する。
あらゆる他者を価値のある存在として尊重する。

基本施策	指 標
①特別支援教育の充実のための人的支援と協働的体制の構築	学校における個別の指導計画や個別の教育支援計画の作成
②不登校児童生徒への人的支援と協働的体制の構築	学校内外で専門機関等の相談・指導を受けていない不登校児童生徒数の割合の減少
③教育相談体制の整備・支援	困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できると感じている児童生徒の割合の増加(再掲)
	自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の増加(再掲)
	人が困っているときは進んで助けていると考える児童生徒の割合の増加(再掲)
④各支援員の研修機会の充実	必要に応じた研修機会の確保

Ⅳ スポーツの振興、国スポ・全障スポのよさと障がいに対する理解の促進

生涯にわたって気軽にスポーツやレクリエーションに親しめるよう、施設の整備・充実を図るとともに、その機会を提供するための各種大会や教室などを開催する。また、多様なニーズに対応するため、指導者の発掘・養成に努める。

令和6年度は“2024 国スポ・全障スポ”を通して、スポーツの良さと障がいに対する理解の深化を深め、障がいがある人の社会参加を推進する。

目指す姿

誰もがスポーツやスポーツ観戦を楽しむ
誰もがレクリエーションを楽しむ

基本施策	指標
①スポーツの価値を脅かす暴力・ハラスメント等を行わず、アスリート等の人間的成長を促すことのできるスポーツ指導者の養成	各種講習会・研修会の開催回数の増加
②町民の誰もがスポーツに親しむことのできる環境整備	成人・障害者のスポーツ実施率の向上 2024 国スポ・全障スポへの参加者の増加
③スポーツイベントの開催	スポーツイベントへの参加者の増加

Ⅴ 地域コミュニティの基盤を支える生涯学習・社会教育の推進

一人一人の自己実現に向けた機会となるよう町民の自発的な学習活動を支援し、多様な学習機会や学習情報を提供する。また、学習した成果を生かす場を掘り起こし、地域社会の発展に生かす環境づくりを目指す。あわせて、指導者の発掘・養成、施設の整備・充実を図る。

目指す姿

学ぶことを楽しむ
学んだことを活かす

基本施策	指標
①町民の生涯学習の機会の充実	この1年くらいの中に生涯学習をしたことがある人の割合の増加 各種教室・講習会の開催回数の増加
②地域のコミュニティ拠点機能の強化	社会教育指導員の継続配置
③社会教育人材の養成・活躍機会拡充	知識・経験等を地域や社会での活動に活かしている者の割合の向上
④社会教育分野のデジタル活用推進	社会教育施設におけるデジタル技術の効果的な活用、デジタル基盤の整備
⑤情報技術講習事業推進	パソコン教室への参加者の増加 高齢者向けのスマートフォン講座の開催回数の増加
⑥図書館イベントの内容充実	図書館イベントへの来場者、図書貸出数の増加

VI 多彩な文化の振興と太良町の歴史・伝統文化の継承

太良町文化連盟と連携して、太良町の伝統芸能や諸文化活動の活性化を目指し、郷土文化の振興を図る。また、歴史文化遺産を保存・継承するとともに、調査・研究、公開施設等を整備・活用する。

目指す姿

文化活動を楽しむ

太良町の歴史文化遺産に関心をもつ

基本施策	指 標
文化芸術活動の推進、活動費補助	太良町文化連盟の会員数の増加 文化祭参加団体の増加
太良町の伝統芸能や歴史文化遺産等資料の整理と公開	歴史民俗資料館の来館者数の増加